

Principal Correspondence

リリーベール公式声明

サンタクロースは本当にいます。
サンタクロースが人々の善意の象徴とするなら
彼はみんなの心のなかに確かにいます。

今年も1年間、コロナに負けず
元気に大きくなったあなたには特別に
クリスマスアッセンブリーの日に会いに来るでしょう。

今年1年の成長と、あなたを見守り、慈しんでくれた人々に感謝し
来年はもっと優しく強い子になりますように…。願いをこめて

コロナ禍の2年間、昨年のクリスマスはオンライン配信となりました。今年はさらに
夏休み後の9月は分散登校で練習ができませんでした。
そこで創意工夫しショートバージョンにして「クリスマス・ファンタジー」をテーマに
行います。子どもたちは学校に登校し、保護者にはオンラインで配信します。

子どもたちは良い子ならサンタクロースに会えるかも？

クリスマスは、キリスト教徒でなくても、大人にも、子どもにとっても一年のおわり
の最も楽しい行事です。
夕暮れの雑踏、街の飾り、光り輝くイルミネーション、歳末助け合いの声。
子どもたちはサンタクロースのプレゼントに心躍らせ、大人はあたりまえの幸せに
感謝し、一年間の無事と成長を祝うとき…。

一年のおわりにリリーベールではコロナに負けず、「クリスマスアッセンブリー」で
至極の時間を提供します。

Principal Correspondence

幸せのメカニズム

「サザエさん症候群」という話があります。楽しかった日曜日の夕方、テレビから「サザエさん」の主題歌が流れてくると、明日からの仕事を思い、憂鬱になる精神状態をいいます(私も昔はその通りでしたが、今は違います)。

現在、心理学や WHO では、幸せは「happiness(ハピネス)」ではなく「well being(ウェルビーイング)」と定義されています(幸せのメカニズム 前野隆司 講談社現代新書)。

体が健康で心も安定している状況を幸せと言うわけです。

前野先生は以下のように述べています。

「疲れのほとんどは肉体ではなく精神疲労」である。家でゴロゴロしていてもテレビを見ていても疲れは取れない・・・したがって



- ①土日も同じペースで活動する。頭と体を使う。
- ②公私混合(混同ではありません)仕事が趣味。趣味が仕事。
- ③いやな仕事はしない。それを工夫し楽しくする。
- ④やりたい仕事の理念もビジョンも明確にせよ(何のために誰の為にどんな結果を出したいのかを考えておく)。

幸福度の高い人ほど前向きで楽天的。「どうにかなる」と思っており、ストレスの対処(気分が落ち込んだら屋外に出て太陽を浴びたり、体を動かしたり、部屋の照明を明るくする。生活に笑いを取り入れる etc.)が上手です。

友人が多い少ないは幸福に関係ありませんが、多様な友人がいることは幸せ感が高いといえます。学童期は性格形成期です。

個性は異なってもいろいろな友達を理解すること。自分の良い点(得意)を伸ばし、将来の職業に結び付けられることがキャリア教育の第一歩です。

